

# ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN WEEKLY REPORT

2016-2017

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル  
■会長/木下 福郎 ■幹事/細井 俊男 ■会報・雑誌・広報委員長/木村 猛  
■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号  
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



人類に  
奉仕する  
ロータリー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail [info@meinan-rotary.com](mailto:info@meinan-rotary.com) 2016-17年度 国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム

## 第 1222 回

2017年5月30日(火) 晴 第40回

～ 青少年奉仕月間 ～

齊 唱	奉仕の理想
出 席	会員 53 名 (出席率算入人数 44 名) 出席 40 名 出席率 90.91% 前々回補填率 100% (5月16日分)
ゲスト	プロゴルファー 塩谷 育代さん マネージャー 佐藤 宏子さん
ビジター	西名古屋分区 ガバナー補佐 深谷 友尋さん 西名古屋分区 幹事 岩佐 信機さん IM 実行委員長 梅田 武久さん 名古屋昭和 RC 鈴木 重幸さん

## 会長あいさつ

会長 木下 福郎さん

皆さま、こんばんは。少しプライベートな話ですが、先週初めて両国国技館へ行きました。相撲を見て参りました。愛知県体育館しか知らないの、広さとクーラーがよく効いていたのにびっくりしました。両国国技館は最後列がテーブル席になっており、私の後ろに小錦の家族と武蔵丸が見に来ていました。ただ、たまたま稀勢の里が休場した日だったので、少しがっかりではありました。



また、先日BSテレビで、虎の子丼という美味しい丼を探す番組を放送して、料理評論家3人がどれが美味しいかを決めていたのですが、その中に山本益博さんがいました。以前、GOETHEという雑誌でタダ飯食いだとか叩かれていまして、久しぶりにテレビに出ているのを見たのですが、その時に山本益博さんがロータリーバッジを上着に付けていました。ロータリーの事は何も話してないのですが、この人はロータリアンなのだと初めて知りました。私は会長になってからロータリーバッジを付けるようになりましたが、以前は付けていなかったの、テレビで山本益博さんが付けているのを見てカッコ良いなという気がしまして、これからは付けようかなと思いました。

それと、先日5月号のガバナー月信を見ていま

たら、2017年3月までのロータリー財団の寄付金額が出ており、世界の上位3位が載っていました。1位はアメリカで128億円、2位は韓国で15億円、3位は日本で14億円でした。人口で言うと、日本はアメリカの半分で韓国の倍ですので、なぜ日本がこれほど少ないのか気になって調べたのですが、1つには、キリスト教徒というのはお金持ちが貧しい人に収入の10分の1を寄付するという習慣があるそうで、韓国もキリスト教が多いからなのかと少し思いました。ただ、キリスト教徒の多いドイツとイタリアの順位が低いので、そうではないのかも知れません。日本人でも米山梅吉さんの様に、青山学院小学校を寄付したり、立教大学に寄付をされたりされていますが、やはり戦後、日本に累進課税が導入され、個人で寄付するという習慣よりも政府が貧しい人に施すという習慣があるのかなと思います。また、税制面で個人が寄付をした時の優遇が受けにくいという部分もあると思います。ただ、ロータリー財団は税金の免除が受けられますので、アメリカまでいかにしても韓国に負けない位、是非皆さまもロータリー財団に寄付をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

## 幹事報告

幹事 細井 俊男さん

1. 次回、6月6日(火)は6月度の理事会がごさいます。17時30分より17階パインの間で行いますので、ご出席の方よろしくお願い致します。

## ニコボックス

◆ 塩谷育代プロの卓話たのしみになっています。

江松 央統さん	中西 芳子さん	犬飼りさ枝さん
森田敏二三さん	高橋 司さん	日下智重子さん
佐々木 暢さん	新原 尚さん	杉山 隆秀さん
鈴木 享さん	木村 猛さん	中村 勝さん
木下 福郎さん	久米 伸治さん	三浦 和人さん
三浦 隆さん	猪村 美之さん	大平 明子さん
吉木 邦男さん	川瀬 悟さん	三島多恵子さん
筧 恵理さん	細井 俊男さん	川辺 清次さん
加藤 英敏さん	坂田 信子さん	佐々木元彦さん
長尾 浅吉さん	牧野 好弘さん	田中 一雄さん
小野 雅之さん	鈴木 清詞さん	本多 利郎さん
朝比美和子さん	神田 広一さん	鈴井 一博さん

- ◆ 3月と4月に開催されました、今年度分区行事である【インターシティー・ミーティング】並びに【ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペ】に際して、皆様より多大なご協力をいただき、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

西名古屋分区 ガバナー補佐 深谷 友尋さん  
 分区幹事 岩佐 信機さん  
 分区副幹事 長瀬 廣幸さん  
 IM実行委員長 梅田 武久さん  
 チャリティーゴルフ実行委員長 芹澤 謙一さん

- ◆ 鈴木享様、今回は塩谷育代プロのお話を楽しみに聞きに来ました。

名古屋昭和RC 鈴木 重幸さん

本日合計 58,000 円 累計 1,863,500 円

## I M 御 礼

- 西名古屋分区 ガバナー補佐 深谷 友尋さん  
 皆さま、こんばんは。今日は、過日行われました、インターシティーミーティングと、ロータリー財団100周年記念ポリオ撲滅キャンペーンのゴルフ大会のご報告と御礼に参りました。皆さまに格別のお世話をいただきまして、お陰様で成功裏に納める事ができました事、高い席からではございますが厚く御礼申し上げます。

IMは久々でございましたが、名古屋ロータリークラブを始め、470名余りの会員の皆さまのご登録をいただき、東急ホテルで盛大に催す事ができました。基調講演には、齋藤国際理事にご講演をいただき、記念講演には武田先生に「未来のエネルギーについて」お話をいただきました。最後にはバイオリニストの寺井尚子さんのジャズ演奏を皆さまと楽しみました。また、東山愛知カントリーに於きまして、137名のご登録をいただき、チャリティーゴルフを開催させていただきました。前日は土砂降りの雨でどうなる事かと思いましたが、当日は晴天に恵まれゴルフ日和でした。これもロータリアンの皆さまの日頃の御精進の賜物と感謝申し上げたいと思います。更に嬉しい事に、4番ホールのショートでホールインワンが出ました。私の先輩、前年度のガバナー補佐近藤様が第5回目のホールインワンという事で、皆さまと一緒にお祝いを致しました。その御礼を兼ねて、幹事と実行委員長と3人で今日は参らせていただきました。誠にありがとうございました。



## アンチエイジングエクササイズ

中村 勝さん

## 外 部 卓 話

### ■卓話者ご紹介

鈴木 享さん

皆さま、こんばんは。私が紹介するまでもなく、皆さまご存知かと思いますが、1月の新年会でゴルフ部会の木村さんより、女子プロの塩谷さんと呼んで欲しいとお願いされ、今日に至りました。塩谷さんは、賞金女王を2回、ツアーを20勝しております。今日は塩谷さんの卓話を充分に楽しんでください。よろしくお願い致します。



### ■プロゴルファー

塩谷 育代さん

皆さま、こんばんは。現在のゴルフ界についてお話をという事だったのですが、この2~3日、非常にゴルフ界が慌ただしく、衝撃的なニュースが飛び交いまして、話の内容をそちらの方へ変えさせていたideきたいと思います。日本女子プロゴルフ界にとって、1番誇れるプレイヤー宮里藍さんの引退発表がありました。私たちゴルフ界内部の者は、何となく近いのではないかと予測はしておりました。街の声を聞くと、「まだまだ若い」「もっと出来るのに」という話もありましたが、ゴルフ界に身を置いている私たちの口からは恐らく誰一人「まだ若いのに」「もっと出来たのでは」という言葉は無いと思います。やはりそれは、彼女が置かれていた立場が非常に厳しいものであり、期待されている故の異常なプレッシャーの中に身を置いてたから。彼女がこの4~5年非常に苦しんでいたのを知っていたから。恐らく「お疲れ様」の一言で、皆、納得したのではないかと思います。



彼女は15歳の時、アマチュアで初優勝しました。その時、プロである私たちは非常に複雑な気持ちでした。昔、プロの試合でアマチュアの清元さんという方が優勝した事があるのですが、その時以来の事で、大きな衝撃を受け、プロである私たちは情けなさや危機感を持ちながら、彼女が優勝したのを側で見ていた記憶があります。その後、彼女はプロに転向しました。最初に出てくれた試合は、私が28年所属させていただいております伊藤園レディースでした。その時のマスコミの数は、それまでに無かった数でした。あの岡本綾子さんがアメリカツアーから帰って来た時ですら、それ程のマスコミは集まらなかったと思います。それくらい衝撃的な彼女のデビューでした。そして、今回の引退ではまた同じ位の数のマスコミが集まっていました。それだけ彼女の存在というのがいかに大きいかというのが、本当に分かりました。

彼女が口にした言葉で、「モチベーションが無くなってしまった」とありました。20歳でアメリカツアーに行き優勝を重ね、世界一というランキング。大柄なアメリカ人、ヨーロッパ人の中で、155cmの小さな体で世界一という記録を成し遂げました。彼女は「小さい事はハンデでは無い」と記者会見で言いました。確かに私の時代の小柄な選手を思い出してみても、安井純子さん、肥後かおりさん、原田香



織さんの根性たるや本当に凄かったです。人は体に恵まれている人程、一生懸命やらないのです。もしその人たちがもっと努力したら遥かに強くなれるのに、神様はどうしてその人たちに、根気と努力を与えなかったのかと思う位、小さな体の人程、影に隠れて色々な努力をしてきました。恐らく宮里さんもその一人だと思います。

彼女のインタビューの中で、「アメリカに渡ってすぐにドライバーが真っ直ぐ飛ばなくなった」という発言がありました。彼女はあの体格なので、ドライバーはそれ程飛びません。その上で曲がってしまったら、恐らくあの大きな体の人たちがバンバン飛ばすのを見て、自分を見失ってしまったのでしょうか。本来の自分の良い所が何なのか分からなくなってしまった時だったと思います。でも、彼女は非常に聡明な人ですから、すぐ自分の強みを思い出した訳です。それから磨きをかけたのがパッティングでした。

ゴルフというのは、メンタルの部分が非常に大きいスポーツです。その中でも彼女が置かれた立場は、活躍する事、優勝する事しか期待されていないものでした。この15年間頑張ってきたその彼女が「パッティングがイップスだ」と言いました。その辺り、触れていいのかいけないのか、解説者も私たちもとても繊細に言葉を選ばなければならないスポーツなので、彼女がイップスだと分かっている、「彼女のパッティングは今イップスです」とは言いません。イップスという事は、選手生命がそこで途絶えてしまう位大きな問題なのです。ですから周りには「パッティングの調子が悪いですね」等の違う言葉でオブラートに包んだように説明してきましたが、本当に見事に入らなくなったのです。この4~5年の話です。恐らく鈴木さんが目を瞑っても入る位の距離のパッティングを、真剣に読んで、真剣にパッティングをして外すのです。でも彼女は、表情一つ変えないで戦ってきました。普通、その位外れると、不貞腐れたり、表情に出したり、グリーンをクラブのヘッドで叩いたり、そういう選手も数名居ますが、そういう姿を一切見せませんでした。本当に私たちが誇れるプレイヤーだというのは、そういう所から来ています。彼女は、アメリカでも9勝しています。アメリカと言えば、ミシェル・ウィーは185cmで、宮里さんとはなんと30cmの差があります。どれだけ体力的に違いがあるか分かると思いますが、最高峰のツアーで戦ってきて、私がランキングで彼女が世界一になった事よりも何よりも嬉しかったのは、ウィリアム&モーギー・パウエル賞という賞を獲った事です。この賞は、模範的な選手、総合的に素晴らしい選手に贈られる賞で、日本人では初めて贈られた賞でした。恐らく総合的と言っても、今まで与えられた選手の中で、こんなに素晴らしく完璧な人は居ないとそのコミッショナーが言った位、宮里さんは非常に評価が高かったのです。

私は、レギュラーツアーを29年やってきました。昔はそうやって最後までしがみついていた選手が結構多く、ゴルフしかないという時代でした。しかし今は、古閑美保さんの様にパッと引退してバラエティ番組等の色々な所で活躍できる時代です。皆さまもゴルフをされるとは思います。18ホールまわって、これだけ心に波のあるスポーツは他に

無いと思いませんか。例えばティーショットをナイスショットして、清々しい気分です。250ヤード歩き、セカンド地点でボールのライを見ると何とティボット。それまでの気持ちがガラッと180度変わってがっかりする訳です。そこで自分はどうするか、どういう気持ちでターゲットに対して近く寄せるか、という事を考えていく訳です。宮里さんは、「自分は追い込まれる事を趣味にしている」と言いました。追い込まれた自分が、そこからどうやって立ち直っていくかという事に、すごく喜びを感じていた訳です。ですから、これ程プロゴルファーに向く性格の持ち主は居ません。

またゴルフは、人間形成をする場でもあると思います。自分の性格と合わない人や、リズムが少し違う人がパーティーに入ってきたら、左右されませんか。その時に大体の人は、「今日はパートナーに恵まれなくて」と言い訳をします。自分を追い詰めない為に、その言い訳も必要だと思います。しかし、私たちプロゴルファーはそれが許されません。それは、人間として総合的に見られているからだだと思います。もし宮里さんが言い訳したり、誰かのせいにしたら、あれだけの人気は出なかったと思います。みんなが彼女の事が大好きで、引退を惜しむ理由はそこにもあるのです。

私は昔、「プロとしてどんなプレイヤーになりたいか」と質問された時に、もちろん強いプレイヤーになりたいと思いました。しかしもう1つ思ったのが、またこの人と一緒にプレーしたいと思われるようなゴルファーになりたいと思いました。18ホールを4時間、5時間一緒にプレーをする中で、どうせゴルフをするなら楽しみたいと思うはずですが、もちろん人間ですから、気分の悪い時もあると思いますが、極力その自分に勝つというトレーニングをプロゴルファーはしなければならぬと思います。私の時代は、ほとんどの選手が高校を卒業してからプロゴルファーを目指していました。今の子どもたちは、小学生の7歳、8歳、宮里さんは4歳からやっていたと聞きましたが、時代は大きく変わりました。昔は、30歳位がピークだと言われましたが、今は本当に10年若返っている様に思います。ですから、引退も早くなってきていて、あっという間に選手生命が終わる時代になっています。

私は、お父様の宮里勝さんがどういう教育をされていたのか、非常に興味がありました。私も2人の子供を育てていますが、なかなか自分の思う様にはいきません。彼女は4歳からゴルフを始めましたが、お父様の教育方針は、学校が一番というものでした。私は素晴らしいと思いました。今の若い選手たちは、学校に行かなくてもゴルフのトーナメントに出てきます。また、学校側もどうぞ休んでゴルフのトーナメントに出てくださいという時代らしいのです。しかし、宮里さんのお父様は、絶対にそれを許さなかったそうです。勉強してからしかゴルフをさせない。また、色々なスポーツをさせたと言っています。宮里さんはバスケット部に入っていました。体が疲れて休みたいなら、ゴルフは休んでも良いけれど、学校の部活は必ず行きなさいという教育方針だったと思います。そういう小さい頃からの親の育て方が、きっと宮里さんの人間力を強くしたのかなと思いました。今はどうしてもスピードの時代

なので、若いうちに早く結果を出さないと、自分は取り残されてしまうという感覚に陥っていると思うのですが、それは考え方一つだと思います。今の若い子たちは、学校よりもとにかくゴルフを練習して、早くプロになって稼ぎなさいという時代で育った選手たちです。もしそれでプロになれなかったら、彼女たちはどうするのかを思うと、人として自分はどういう人間になりたいのか。宮里家はそういう教育方針で行ってきたという事は、本当にすごい事だと思いました。

私の話で恐縮ですが、実は、私はハンディキャップ15でプロテストに受かってしまいました。これは運が良かったというしか言いようがない事でした。プロテスト3日間で、自分のベストスコアが3日共出たのです。ですから、テストは受かったけれども本当に毎年少しずつ上達して登って行きました。10年後に賞金女王になった後、順番に登ってきたのと全く同じ様に順番に山を下りました。29年間プロ生活をしていますが、段々上手くなっていく自分と、段々衰えていく自分の両方を経験しました。これが私の非常に大きな財産になっています。この世界で食べていくのは本当に厳しいです。今女子プロ界には1,000名以上の会員がいますが、50名がシード選手、レギュラーツアーに出られるのは100名位、賞金を稼いでいるとは言え、一握りの選手がほとんど持って行ってしまいます。ほぼ韓国の選手です。段々、選手生命も短くなる中、がむしゃらに短期間でやっていかなければいけない時代になっているのだと思います。その中で上手いかわからない選手が沢山いるのですが、私は上手いかわからない選手を何とか助けたい。自分が上手いかわからない時代の方が実は長かったので、その手伝いをしたい。少しでも良い思いをして、最後トーナメントプロとして終わってもらいたいという思いで、今はそちらの指導の勉強をしております。ゴルフは、アマチュアの方にとって、本当に楽しいスポーツだと思います。上手いかわからない事の方が多いから、18ホールの中で1つか2つナイスショット、良いパッティングがあったら、今日は良い日だったと思って欲しいのです。大体、皆さまは上がってくると、悪い報告ばかりし合いますが、これからは良かったショット、良かったスコア、良かった内容を伝え合うのが良いのではないかと思います。

最近、ゴルフ場の来場者数が激減していると聞きました。私たちプロゴルファーも心配しています。何故かと言うと、30代、40代の来場者数が非常に少ないからだそうです。最後にお願ひがあります。この1年間の内に30代、40代の方を1人でも良いので、是非ともゴルフに誘ってください。そしてこれからもゴルフ場がずっと賑わいます様に私は祈りたいと思います。ありがとうございました。

## ■ 第2回 事前クラブ協議会 議事録 ■

報告者 三島多恵子さん

日時 2017年5月30日(火) 17:30～

場所 名古屋マリオットアソシアホテル  
17F『パイン』

出席者 入谷、朝比、木下、加藤、細井、三島、  
中西、本多、犬飼、江松、川瀬、森田

23名中12名参加

\*役職は全て次年度

### ◎議題

#### 一、各委員会予算について

- ・各委員会予算案については承認
- ・親睦については受益者負担の場合もあり
- ・全体の運営費については、例会回数の減少により減額となる

#### 一、年間行事予定について

- ・職場例会(株)テックササキ大江工場見学は日程変更あり  
10月24日(火)⇒11月28日(火)に変更可能か確認
- ・ロータリー財団卓話は、11月14日(火)で依頼する

#### 一、委員会構成表について

- ・新入会員神田さん、上田さん、久納さんは  
新奥活動・家族委員会とする  
久納さんは8月より入会と記載する

### ※次回のご案内

第3回 事前クラブ協議会

6月13日(火)

第1224回例会(6月13日)のご案内

クラブフォーラム